



MP機構
Marketing Planners
NET CHANNEL

互幸会議
GOKO KAIGI

激動する世界,日本,ビジネス

日本の未来を考える

益々厳しく
なる時代へ

迷走する世界のなかの日本

AI時代の到来を見据える

2025.01号

互幸会議・主宰

企画塾

株式会社企画塾・代表取締役塾長
高橋憲行

2025年、激動する世界とビジネス

流動的になる世界、日本、そしてビジネス環境

トランプ米大統領と米中関係、世界ビジネスへの影響

日本の政局、大きく不安定化と、政策の混迷

インフレ(物価高騰)が影響する各業界の変化

2024年問題、人材不足が各業界内に大きな地殻変動

DX、リモートと超域化、省人化とロボット化へ

明確な対策なく、日本経済は沈下してゆく

日本経済は、長期低落へ!!

ところで、私のライフワークの原点

ビジネスは、企画,マーケティングですが……

昨年^の再確認

鳥取県のト田舎の禅寺で、戦後すぐ生まれる
(鳥取県東伯郡花見村・現,湯梨浜町)



まったく勉強せず、結果、野山を駆け巡り、魚や虫をとり野草を観察
なぜか実家には世界地図、日本地図があり、ちょっと興味を持つ

田舎を抜け出すために大学に行く
高校3年12月から受験勉強！

大学も単位のみとり、バイト、学生ベンチャーと遊びや飲み会三昧



1969年、偶然にも林先生の著書「情報化社会」を読み衝撃を受ける

著作を書いたのは先生の影響は大きい

地理を異常に好きだったこと
図面作成も好きだったことも著作に好影響を与えた



企画書は情報処理

大学院では大型コンピュータで図形処理等を扱い、日本最初のCGシンポジウムも



実は情報社会がライフワーク

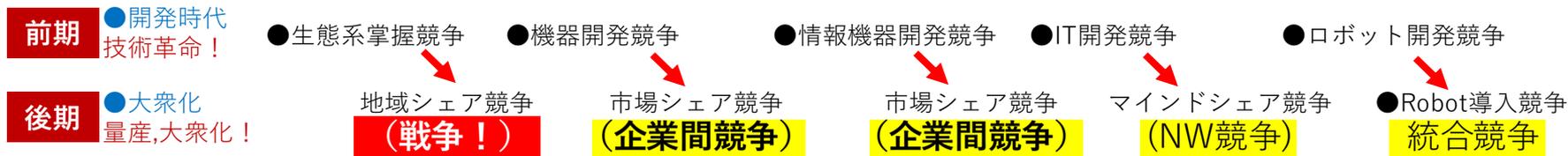
人類の歴史と、社会の変遷、そしてあなたの立ち位置



その特性(産業特性)



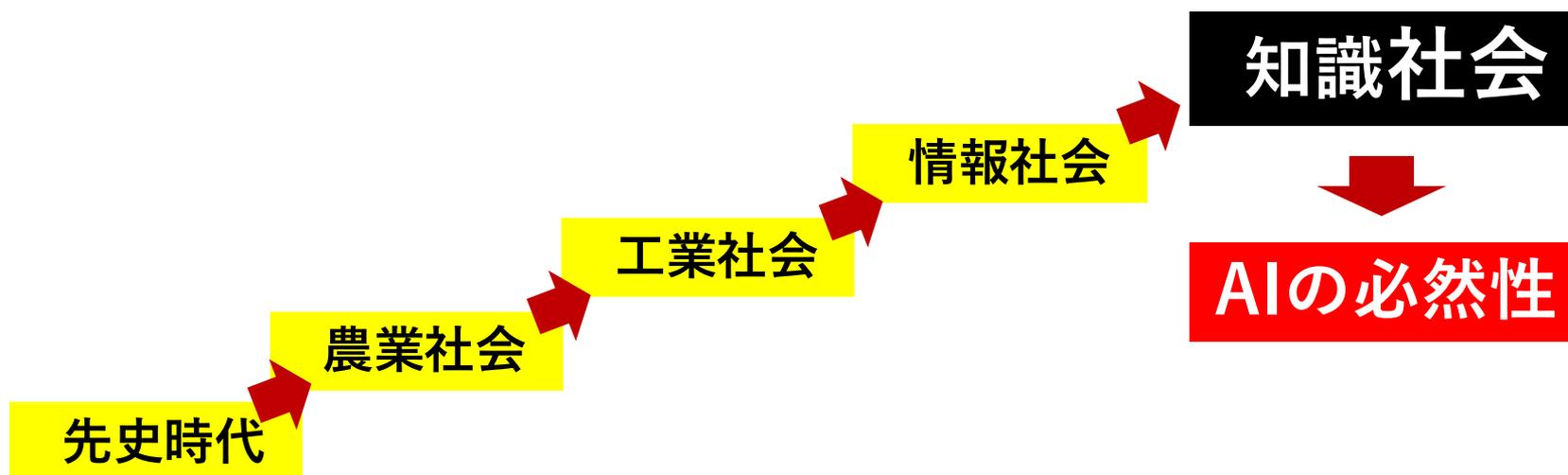
国家や企業の競争特性



今、あなたはどこを生きているか！！

簡単に描くと…

混沌の時代には
一度、歴史やフレームを明確に把握するのは最良策かと



商店や中小企業の**マーケティング屋**が
なにをデカイ話をするのかと思われるかもですが

高橋は、この5年来、歴史とフレームに注力!!

コンピュータの歴史100年

IT系企業、ネット企業、スマホ系企業だけでなく
一般のサービス業に至るまで、ロボット時代を迎える！

IoT時代を生き抜く
Internet on Things



1945~1980年代は情報機器開発競争時代

1956年、最初のAI会議(ダートマス会議)

1970年代から産業ロボット時代、日本大躍進

1990年代からPC時代へ、個人が情報機器

1994年、インターネット商用化

ロボット大競争時代へ突入

ロボット普及期

2045年「人工知能が人類の能力を超える」
(技術的特異点)

- 医療ロボット
- 介護ロボット
- 育児ロボット
- 家事ロボット (料理ロボットなど)
- 癒しロボット
- 教育ロボット
- 事務ロボット
- 建設ロボット
- サービスロボット
- 農業ロボット
- 漁業ロボット
- 林業ロボット
- 深海ロボット
- 軍事ロボット

1945年・最初のコンピュータ
「エニアク1号」

1956年・人工知能(AI)を主題にダートマス会議開催

1961年・初の産業ロボット米国ユニオン・ミシガン社「ユニット」

1968年・TIG(集積回路)を発表(半導体からIC時代へ)

1969年・「情報化社」(東工大教授・林雄一郎・磯藤社)

1968年・川崎重工「ニモト」
溶接ロボットとして自動車産業へ

AMF社が「パースラン」
提携

1976年・MS創業

1977年・アップル創業

1978年・東芝・森田らによる初のワープロ「W10」

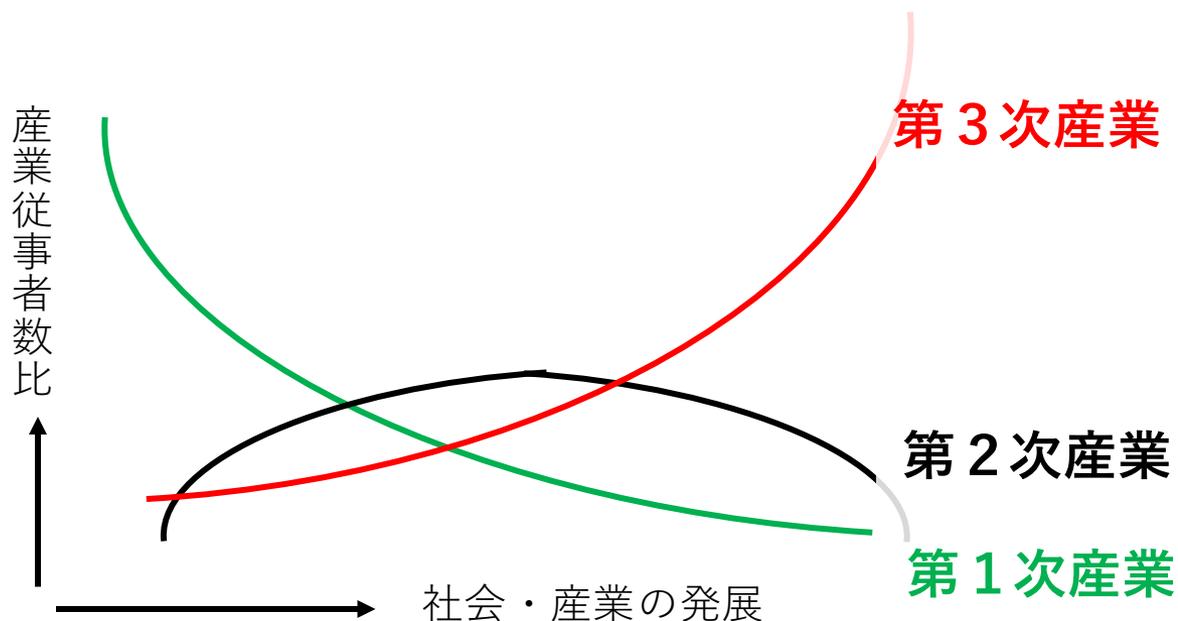
1979年・NEC「L2800」

2023年、チャットGPT登場!!

今後20年、AI & Robotics進展

各社会の進化と激変 !!

フィッシャーの産業分類と進化説は…



フィッシャーは社会の発展の中で、第1次より第2次、さらに第3次産業従事者が増えると提言し、その通りに推移。

政府、経産省など、1970年くらいまで、この産業分類を積極的に利用

モノを生産しない産業、第3次産業が圧倒的に増え、70%を超えた結果

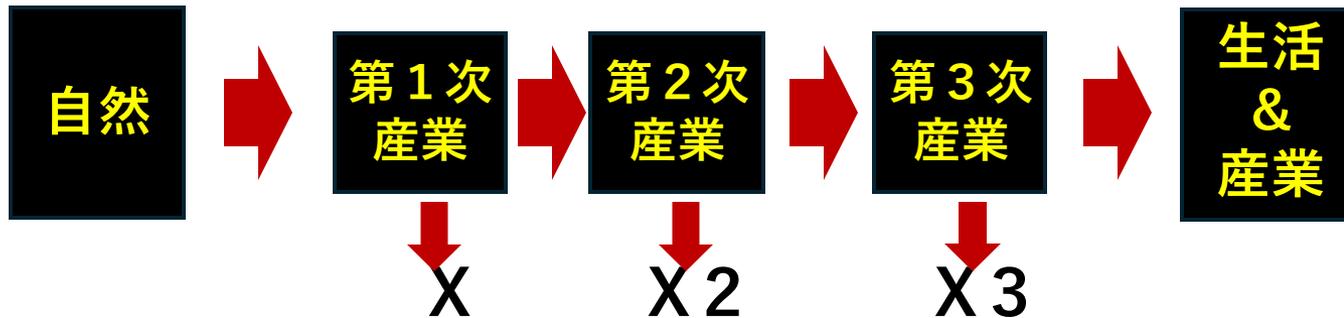
政府も経産省も、フィッシャー説を封印した

以後、産業分類と段階成長説は、語られない

三次元産業発展説を提示

京都府から受託した新産業、研究と学術都市構想で提示
1980年代前半のこと

まず、第1～3次産業を「X軸産業」と位置付ける



- 1
第1次産業は、自然から原材料を作り出す（収奪，収穫）
第2次産業は、原材料から必要な製品を作り出す（加工）
第3次産業は、製品を必要とする生活や産業へ届ける（流通）

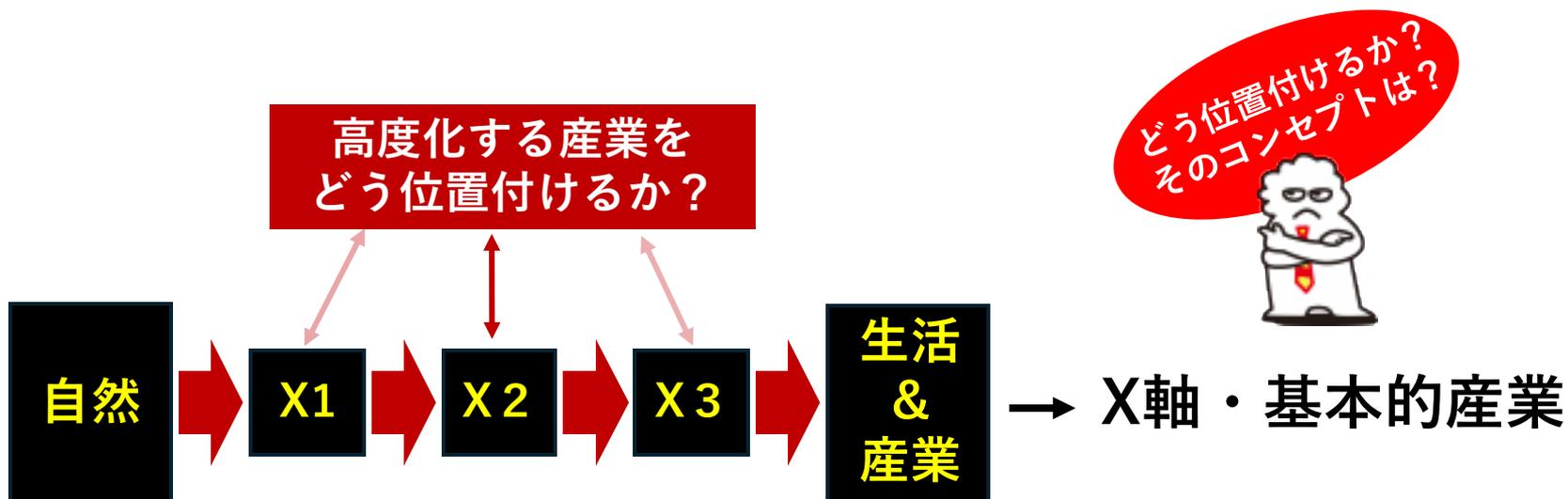
第1～3次産業を、X軸産業と位置付ける

三次元産業発展説を提示.2

高度成長期、分類不能な産業も現れてくる

当時、付加価値産業とか、高感度産業とか言われていたが、**それらの企業を京阪奈丘陵に展開させるプロジェクト**が京都府で起こり、高橋が受託

京阪奈文化学術研究都市構想が発足（**西の筑波とも言われた**）

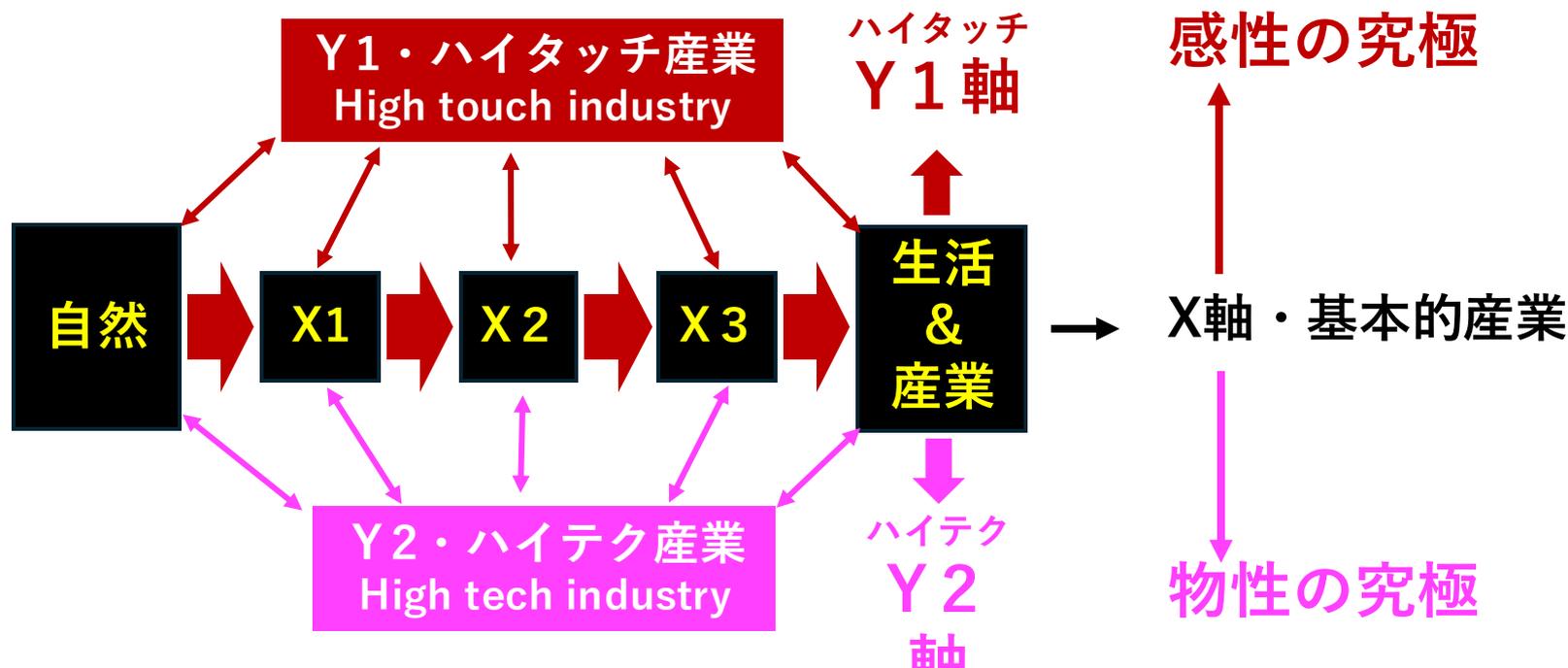


新たな産業群を、Y軸産業と位置付ける

三次元産業発展説を提示.3

高付加価値産業をY軸表現することに

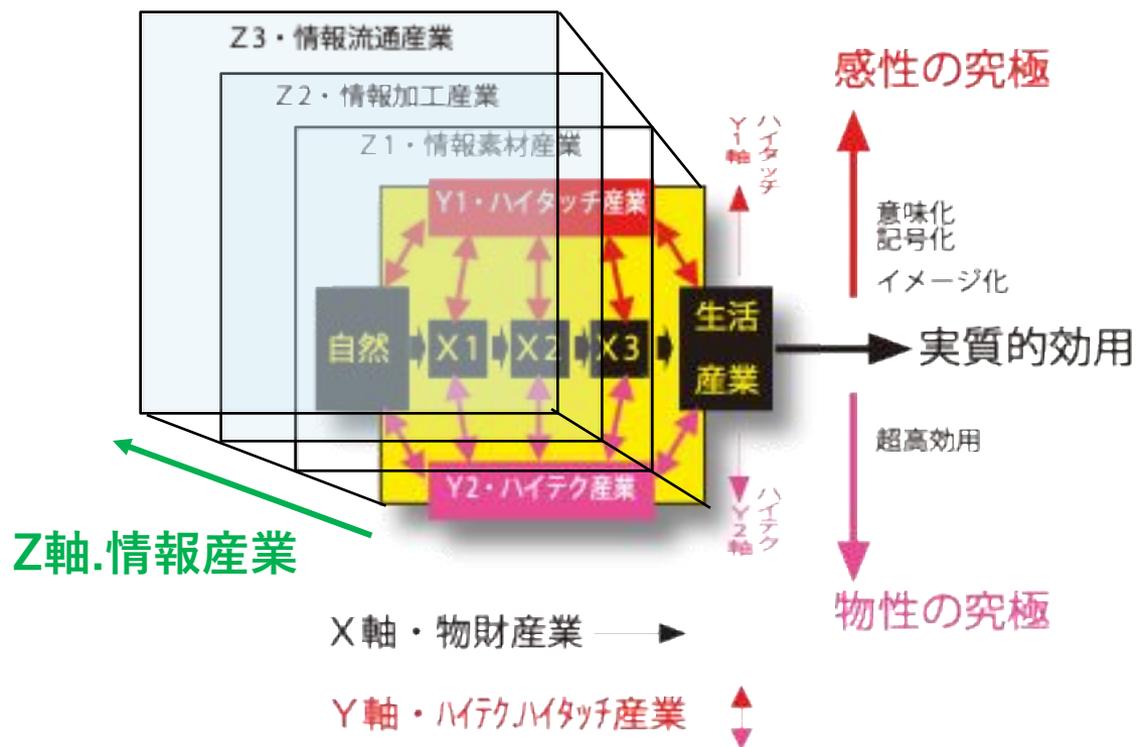
高い付加価値を持つ産業を、基本的産業の付加価値拡大と位置付け
Y軸展開をハイテク・ハイタッチ双方への展開特性を表現した



新たな産業群を、Y軸産業と位置付ける

三次元産業発展説を提示.4

情報産業をZ軸に位置付ける



情報産業を
Z軸に位置付ける



X軸同様に

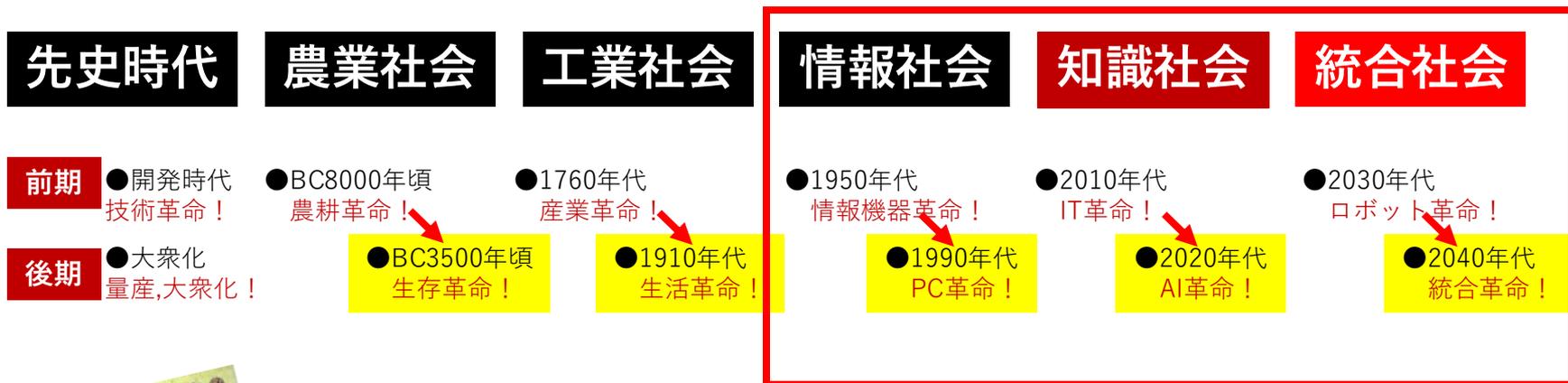
- ・ 情報素材
 - ・ 情報加工
 - ・ 情報流通
- と3分類できる



情報産業は、すべての産業局面に関わる産業

情報社会とは何か？

ライフワークは「情報社会とは何か？」





1969年
先生の著書
「情報化社会」
に衝撃を受ける

しかし学者にな
る気はなく
ビジネスの現場
で**情報社会とは
どうなるのか**を
ライフワークに

企業内知的
部門をビジ
ネスにする
ことに



さらに…

新たなビジネスの地平をライフワークに…

情報社会、ビジネス、AIの行末は？

2025年以降、激動の時代にどうなるか？

トランプ米大統領の再登場で世界はどうなる？

トランプの関税爆弾が起こす、混乱とインフレ傾向

ウクライナ動向には常に注目しておくこと

トランプはすぐに終わらせると言っているが…

米中経済戦で、ビジネスは？ 情報社会は？ AIは？

情報社会の進化で、AIの比重は必須、急拡大！！

AIそのものは、ずいぶん昔から利用されている

2023年にChatGPTが登場して驚かれたが……騒ぐことでもない

次回は、情報社会とAIの話を…

ご清聴、ありがとうございました

膨大な、1万事例近い増販増客成功事例報告



毎年30事例を収録したCTPTMarketingの
成功事例「増販増客実例集」16巻

企画・マーケティングで**120冊超!!**
日本最大,最多の出力!!



詳細にツール類なども収録した
さらに本格的で緻密な

「**増販増客marketing実例集**」18巻

膨大なノウハウが、あなたをバックアップ



互幸会議・主宰会社

企画塾